

開書

以事在東京の海島政店に付命を
東京府の属に之

作有以又之少海邊并振使
其廣ら東京居使との行ふ手

其有伺に之急

市河内之下一也

辛未正月

少海郡

振使

梅友市申

高使君様

胡臣教の事の七午之入

第儲府知事と他院とある事

波海勤仕りの事

美海鏡法印

少池公の進

大伴一守

七

江津 惣三郎
赤尾 勘十郎
茅沼 鑑三郎
西村 守成郎
高田 忠三郎
若田 七郎
磯 勇
橋爪 洪三郎

少之 功一
末位 跡五郎次
中田 与地男
山本 立補
松浦 信三助
築末 金吾
ノ十七人

おのりまの昔まゝの家源の給と

七海堂用

多岐の属を以て但此の海
は其の爲に其の限り重き事
了て給ふに同様に取つ相友
事甚き事一に其の事十七人
の責金合の百五十兩は其の
以条の渡り合の由事所交
は此の事金合の事
幸し其の事金合の事

軍振使

大老名
事

朝長親幸十三人
 候別はあし通つ候事ありしは
 一考し先立する由京仕立
 一考し先立する由京仕立
 一考し先立する由京仕立
 一考し先立する由京仕立

七
 御
 御
 御